

過日ルネサスエレクトロニクス那珂工場様で火災が発生しました。半導体不足が問題となっている中での出来事だけに業界への長期的な影響が危ぶまれています。この影響は自動車業界だけでは無く広範囲に及ぶと考えています。今回は 部品調達に関しましてこれまでにホームページや商社様から頂いた情報をお伝えします。

## ルネサス火災関連

### 1.火災の発生状況

火災は3月19日に那珂工場(茨城県ひたちなか市)で発生。N3棟1階のクリーンルーム内で発生し、消火活動は鎮火まで5時間以上かかったとのこと、「過電流」によってめっき槽で出火し、製造装置11台が焼損したうえ、クリーンルームの付帯設備である空調システム、自動搬送系レール、純水配管計なども損傷したとのこと。

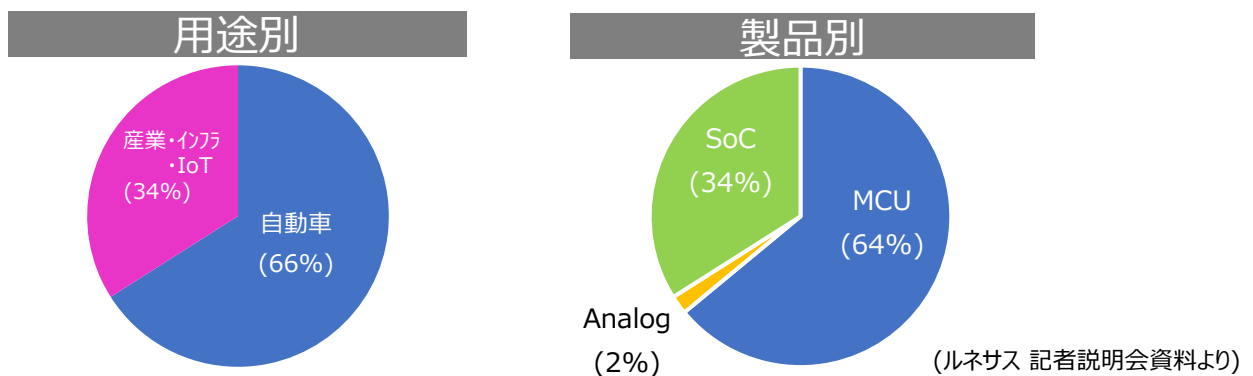
ルネサスは、1ヵ月以内に生産を再開したいと表明していますが、生産量が通常に戻るまでには3ヵ月以上かかる可能性があるとの見方もあります。私の経験上、クリーンルーム内では製品の大敵である微細な塵埃やガスの管理が非常に厳しいことから環境の復旧だけでも相応の時間を要すると推測します。

### 2.製品情報

今回焼損したN3棟は300mmウェハラインで、主に自動車向けマイコンや自動運転/運転支援用システムLSI(SoC)などが生産されていました。該当製品は車載向けマイコンR-Car、RH850がメインで、一部 RXシリーズ品とSHマイコンが対象になると予想されています。弊社ではRXシリーズの使用実績が多数あることから、各製品へのインパクトと今後の調達見込みについて最優先で情報収集を進めています。

#### 火災の影響を受けた製品

火災の影響を受けることになる製品の3分の2は自動車向けであり、生産品目のうち3分の2がマイコンで、3分の1がSoC(R-Carなど)、2%がアナログ半導体だという。



## その他の情報

### 1.東芝製、トランジスタ、カプラ納期について

[代表的な部品名：TLP290/291/290-4/291-4/184/185/187/2701/2703 など]

現在 当該製品群は、生産キャパの倍以上の受注をメーカー側で受けており10月頃まで実受注が入っているようです。メーカー側は、年内一杯同様の状況が継続されると予測しています。物不足状況の為、過剰な手配が入っている事も多々見受けられるとのこと。特にTLP187は、11月から3月にかけて大量注文が入ったことにより、アロケーション状態で、6ヵ月以上の納期が掛かっています。(月産キャパ 通常200k個に対して450k個の受注)

弊社もフォトカプラの使用数が多いことからルネサス製品同様に情報収集を進めています。

最近、半導体工場が地震、停電、火災など予期しない事態で操業停止に追い込まれるケースが相次いでいます。また、その他の電子部品についても長納期化とか価格アップの通知が増えています。今後も、情報収集を継続し新たな情報が入りましたら皆様にお伝えして参ります。